

YAMAHA
PORTATONE

PSR-190
PSR-78



取扱説明書

ごあいさつ

このたびはヤマハポータートーンPSR-190/78をお買いもとめいただき、まことにありがとうございます。PSR-190/78のさまざまな機能を十分に活用するために、この取扱説明書をよくお読みになってからご使用ください。なお、読み終わった後も、保証書とともに大切に保管して、操作のしかたがわからないときにお読みください。

表記上の約束ごと

本文欄外に操作ガイドがついています。以下のマークを目安にお読みください。

-  **注意** : 操作上の禁止事項などを解説します。必ず目を通してください。
-  **メモ** : 各機能を十分に理解するためのポイントや、補足的な機能を解説します。
-  **電源 オン** : 電源を入れた時に設定されている値を表示します。
-  **設定範囲** : 本文で解説している項目の設定範囲を表示します。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもおお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

記号表示について

- △ 記号は、危険、警告または注意を示します。
- 記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。
- 記号は、行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

* お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

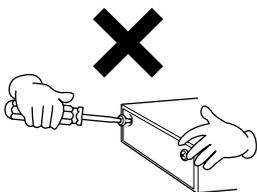
警告

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。



この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。

感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。また、本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。感電や火災、または故障の原因になります。



電源アダプターコード/プラグがいたんだ場合、または、使用中に音が出なくなったり異常なおいや煙が出た場合は、すぐに電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜く。(乾電池を使用している場合は、乾電池を本体から抜く。) 感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。



電源は必ず交流100Vを使用する。
エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



電源アダプターを使用する場合は、指定の電源アダプター(PA-3B)以外は使用しない。
(異なった電源アダプターを使用すると故障、発熱、発火などの原因になります。)



手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。また、濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。感電のおそれがあります。



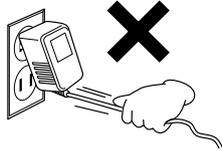
電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。
感電やショートのおそれがあります。

⚠️ 注意

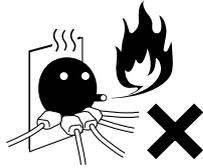
この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。

❌ 電源アダプターコードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源アダプターコードに重いものをのせない。
電源アダプターコードが破損し、感電や火災の原因になります。

❗ 電源プラグを抜くときは、電源アダプターコードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。
電源アダプターコードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。



❌ タコ足配線をしない。
音質が劣化したり、コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。



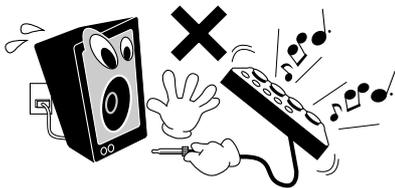
❗ 長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電、ショート、発火などの原因になります。

❗ 乾電池はすべて +/- の極性表示通りに正しく入れる。
正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れのするおそれがあります。

❌ 乾電池は一度に全部を交換する。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しない。また、種類の異なったもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品の異なるものなど)と一緒に使用しない。
発熱、発火、液漏れの原因になります。

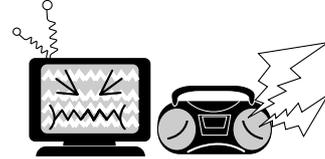
❗ 長期間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いておく。
乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

❗ 他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にする。
感電または機器の損傷のおそれがあります。



❌ 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、またほこりや振動の多いところで使用しない。
本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。

❌ テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。
デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



❌ 不安定な場所に置かない。
機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

❗ 本体を移動するときは、必ず電源アダプターコードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行う。
コードをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。

❌ 本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック製品などを置かない。
本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。お手入れは、柔らかい布で乾拭きしてください。

❌ 本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。
本体が破損したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

❌ 指定のスタンド以外は使用しない。また、取り付けには必ず付属のネジを使用する。
本体が転倒し破損したり、内部の部品を傷つけたりする原因になります。

❌ 大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。



不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。

使用後は、必ず電源を切りましょう。

音楽を楽しむエチケット



これは日本電子機械工業会「音のエチケット」キャンペーンのシンボルマークです。

楽しい音楽も時と場所によってはたいへん気になるものです。隣近所への配慮を十分にいたしましょう。静かな夜間には小さな音でもよく通り、特に低音は床や壁などを伝わりやすく、思わぬところで迷惑をかけてしまうことがあります。適度な音量を心がけ、窓を開めたりヘッドフォンをご使用になるのも一つの方法です。音楽はみんなで楽しむもの、お互いに心を配り快適な生活環境を守りましょう。



特 長

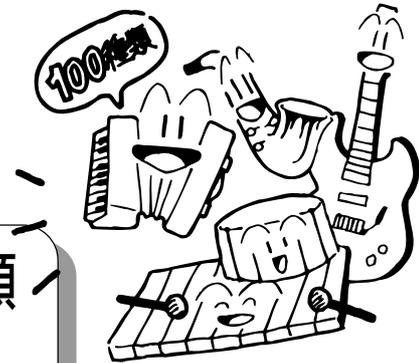
デモソングが20曲！ まず聴いてみよう！

いろいろなジャンルのデモソングが20曲入っています。
まず聴いてみよう！



ディスプレイを見ながら簡単操作！

PSR-190/78のディスプレイは、いろいろな設定や情報を表示します。
アイコンの意味を覚えると、簡単に演奏できます。



リアルで、バラエティ豊かな音色が100種類

リアルなAWM音色(100種類)の中から、お気に入りの音色を選んで演奏してみよう。

ワルツからテクノまで。自動伴奏スタイル100種類

ワルツ、ロック、ジャズ、テクノなど、いろいろなスタイルの自動伴奏(オートアカンパニメント)をバックにメロディ演奏してみよう。
ジャムトラックセクションはコード進行が付いているから、コード演奏が苦手な人も、自由にメロディ演奏できます。



マイナスワン機能を使って、デモソングを練習しよう！

デモソング(20曲)の中から気に入った曲のメロディを、カラオケみたいに練習しよう。



伴奏スタイルやデモソングに合った音色をワンタッチで選択

ワンタッチセッティングは、自動伴奏スタイルやデモソングに合った音色を自動選択する便利な機能。自動伴奏スタイルやデモソングを選んでボタンを押すだけで、すぐに演奏できます。



もくじ



演奏の準備をしよう！

電源の準備	4
ヘッドフォン / 外部出力端子について	4
譜面立ての取り付け方	4
オプション(別売)商品のご紹介	4



デモソングの鳴らしかた	5
-------------	---



ディスプレイの見かたと基本的な操作方法	6
---------------------	---



音色の選びかた	8
---------	---

ドラム / パーカッションリスト	9
------------------	---



自動伴奏を使った演奏	10
------------	----

マルチフィンガリングについて	12
----------------	----

テンポの調整	13
--------	----

ビートディスプレイについて	13
---------------	----

自動伴奏音量の調整	15
-----------	----

自動伴奏の大編成 / 小編成の切り替え	15
---------------------	----



マイナスイオンを使って練習	16
---------------	----



ワンタッチセッティングの活用	17
----------------	----

資料

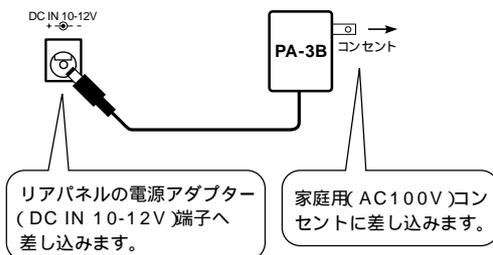
デモソング楽譜集	18 ~ 27
故障かな?と思ったら	28
PSR-190/78仕様	28

演奏の準備をしよう!

電源の準備

PSR-190/78は電源として、家庭用コンセントと乾電池の両方を使うことができます。

家庭用コンセントから電源をとるときは



リアパネルの電源アダプター (DC IN 10-12V) 端子へ差し込みます。

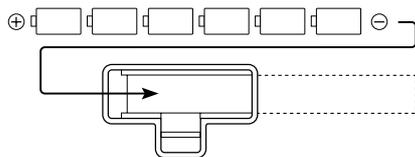
家庭用 (AC100V) コンセントに差し込みます。

⚠ 注意

電源アダプターをご使用になる場合は、必ず付属の専用アダプターPA-3Bをご使用ください。他の電源アダプターの使用は、故障、発熱、発火などの原因になります。このような場合は、保証期間内でも保証いたしかねる場合がございますので、充分にご注意ください。

乾電池を使うときは

- q 柔らかい布などの上で裏返して、電池ブタをはずします。
- w 市販の乾電池 (単1乾電池) を6本入れます。イラストに合わせて、向きを間違えないように入れてください。
- e 電池ブタを閉めます。



⚠ 注意

乾電池は早めにおとりかえいただくことをおすすめします。電池が少なくなると、音が歪んだり、音が出なくなったり、電源を入れた時の状態に戻ることがあります。このようなときは、以下のことに注意して乾電池を交換してください。

❗ 乾電池はすべて+/-の極性表示どおりに正しく入れてください。正しく入れていない場合、発熱、発火、液漏れのおそれがあります。

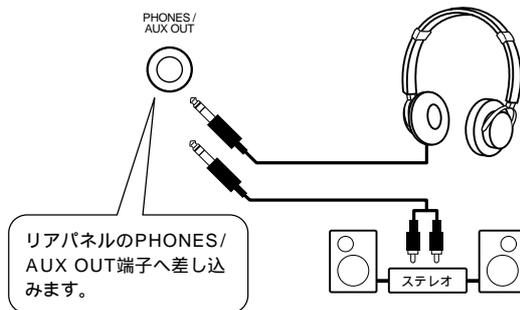
⊘ 乾電池は一度に全部を交換してください。乾電池は新しいものと古いものを一緒に使用しないでください。また、種類の異なったもの(アルカリとマンガン、メーカーの異なるもの、メーカーは同じでも商品が異なるものなど)を一緒に使用しないでください。発熱、発火、液漏れの原因になります。

❗ 長時間使用しない場合は、乾電池を本体から抜いてください。乾電池が消耗し、乾電池から液漏れが発生し、本体を損傷するおそれがあります。

メモ

乾電池が入っていても、電源アダプターが接続されると、自動的に電源アダプターから電源が供給されるようになります。

ヘッドフォン / 外部出力端子について



リアパネルのPHONES/AUX OUT端子へ差し込みます。

メモ

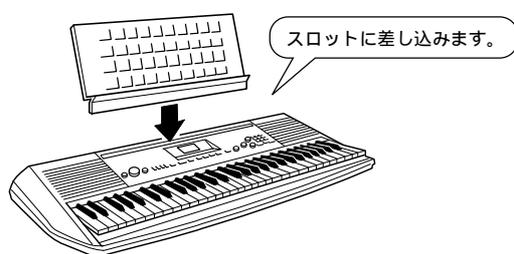
ヘッドフォンを接続すると自動的にPSR-190/78のスピーカーから音が出なくなります。

PHONES/AUX OUT端子は外部出力端子にもなります。PHONES/AUX OUT端子とキーボードアンプ、ステレオ、ミキシングコンソール、テープレコーダーなどの入力端子を接続すれば、PSR-190/78の演奏を外部機器で鳴らすことができます。

⚠ 注意

⊘ 大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しないでください。聴覚障害の原因になります。

譜面立ての取り付け方



スロットに差し込みます。

オプション (別売) 商品のご紹介

ヘッドフォン		キーボードスタンド		ソフトケース	
HPE-150	¥4,000	L-2L	¥4,000	SCC-32	¥6,000
HPE-3	¥3,000	L-2C	¥6,000		

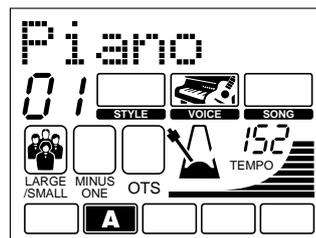
商品の金額には、消費税は含まれておりません。



デモソングの鳴らしかた

いろいろなデモソング(20曲)を聴いてみましょう。

1 電源を入れます。

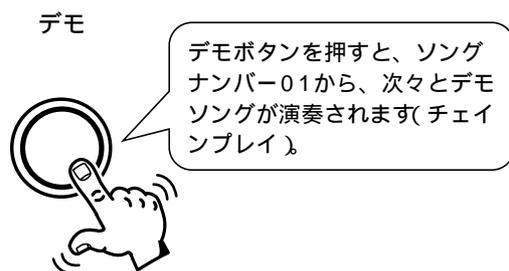


電源 オン モード：音色モード

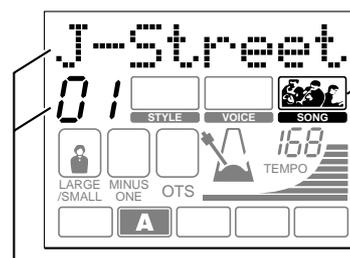
2 音量を調整します。



3 デモソングをスタートします。



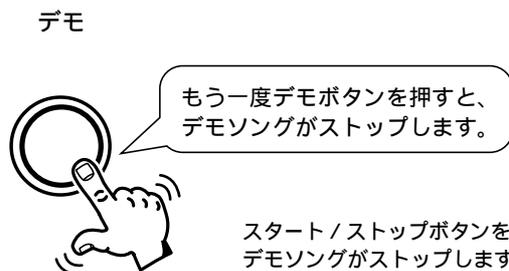
ソング(SONG)のアイコンが点灯



演奏中のデモソングのナンバーとネームが表示されます。

メモ デモソング演奏中、デモソングのスタイルデータに従って、セクション表示、自動伴奏大編成/小編成表示が動きます。

4 デモソングをストップします。



スタート/ストップボタンを押しても、デモソングがストップします。

ディスプレイの見かたと基本的な操作

モードセクション(MODE SECTION)



モード/ナンバー/ネーム表示 8, 10, 16ページ
音色(VOICE)、伴奏スタイル(STYLE)、ソング(SONG)モード、選ばれているナンバーやネームを表示します。

①音色ボタン、②伴奏スタイルボタン、③ソングボタンを押してモードを選択し、④ナンバーボタン[1]~[0][+][-]で、それぞれのナンバーを選択します。

モードの選びかた

音色/伴奏スタイル/ソングボタンを押すと、モードを選ぶことができます。(選ばれたモードのアイコン点灯)

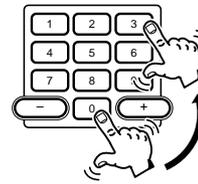


- 音色モード 音色を選んで鍵盤演奏するとき
- 伴奏スタイルモード 伴奏スタイルを選んで自動伴奏するとき
- ソングモード デモソングを選んで演奏するとき

ナンバーの選びかた

音色、伴奏スタイル、ソング、それぞれのナンバーを選択するときに使用します。

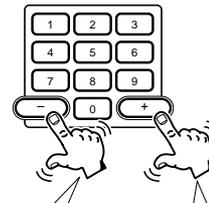
[1]~[0]ボタンで選ぶには
例) X3 : SONG NO 03を選ぶ場合



「10の位」「1の位」の順番で、ナンバーボタンを続けて2つ押します。

03

[+][-]ボタンで選ぶには
(ナンバーをひとつずつ変える)



押し続けるとナンバーは連続で増減します。

一度押すと、ひとつ小さなナンバーに
一度押すと、ひとつ大きなナンバーに

07 ← 08 → 09

メモ 設定範囲以外のナンバーは、ディスプレイに「--」が表示され、入力できません。(例: ソングモードの01~20以外のナンバー)

[+][-]の同時押しで各設定は電源オン時の設定に戻ります。

・電源 入/切 (POWER ON/OFF) ボタン 5ページ

・総合音量 (VOLUME) コントロール 5ページ

・デモ (DEMO) ボタン 5ページ

・シンクロスタート (SYNC-START) ボタン 11ページ

・スタート/ストップ (START/STOP) ボタン 11, 15ページ

方法

PSR-190の本体パネルは英文で表記されていますが、この取扱説明書は和文で表記 / 説明いたしますので、付属の和文シートをパネルにセットしてご利用ください。

セッティングセクション(SETTING SECTION)



自動伴奏大編成 / 小編成表示

15ページ

自動伴奏の大編成 / 小編成を表示します。

⑤ 自動伴奏大編成 / 小編成 (LARGE / SMALL) ボタンを押して、大編成 / 小編成を切り替えます。



マイナスワン表示

16ページ
デモソングのマイナスワンのオン / オフを表示します。

⑤ マイナスワン (MINUS ONE) ボタンを押してオン / オフを切り替えます。



ワンタッチセッティング表示

17ページ

ワンタッチセッティングのオン / オフを表示します。

⑥ ワンタッチセッティング (ONE TOUCH SETTING) ボタンを押してオン / オフを切り替えます。



ビート表示

13ページ
伴奏やデモソングなどのビート (拍) を表示します。



テンポ (TEMPO) 表示

13ページ
伴奏やデモソングなどのテンポ (曲の速さ) を表示します。

⑦ テンポ (TEMPO) [+] [-] ボタンを押してテンポを調整します。



自動伴奏音量表示

15ページ
自動伴奏の音量を表示します。

⑧ 自動伴奏音量 (ACCOMP VOL) [+] [-] ボタンを押して自動伴奏音量を調整します。

スタイルセクション(STYLE SECTION)

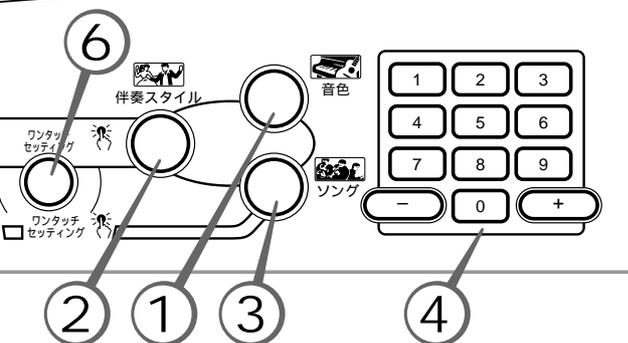


INTRO MAIN A MAIN B ENDING JAM TRACK

セクション表示

14ページ
伴奏スタイルのセクション、イントロ (INTRO)、メイン A/B (MAIN A/B)、エンディング (ENDING)、ジャムトラック (JAM TRACK) を表示します。

⑨ イントロ、メイン / オートフィル、エンディング、ジャムトラックボタンを押してセクションを切り替えます。



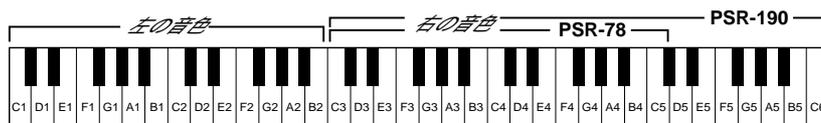


音色の選びかた

PSR-190/78には、先進のAWM(アドバンスド・ウェーブ・メモリー)音源を利用した高品質な100種類の音色がはいっています。音色を選んで演奏してみましょう。100音色の中には、以下のような効果がついた音色もあります。

ハーモニーボイス(45~58).....演奏した音に加え、1~3音のハーモニー音が自動的に付きます。

スプリットボイス(69~79).....C3より右の鍵盤で一つの音色、B2より左の鍵盤でもう一つの音色が演奏できます。



エコーボイス(80~94).....エコー(こだま効果)がかかった音色です。

サステインボイス(95~99).....サステイン(余韻効果)がかかった音色です。

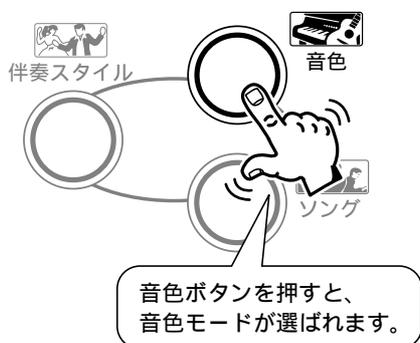
パーカッション(94/00).....鍵盤を弾いて、いろいろなパーカッションサウンドが楽しめます。 9ページ「ドラム/パーカッションリスト」



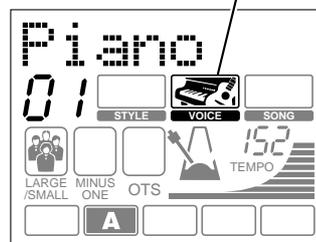
メモ ハーモニーボイスで演奏できるのは1音だけです。複数の鍵盤を押さえると、いちばん最後に押さえられた音に対してハーモニー音が付けられます。また、自動伴奏、ソングを演奏していない時は、Cコードを基本としたハーモニー音が付けられ、自動伴奏演奏中、ストップアカンパニメント(11ページ)演奏中は、押さえられたコード(12, 13ページ)を基本としたハーモニー音が付けられます。ただし、自動伴奏のイントロ/エンディング/ジャムトラックセクション演奏中やソング演奏中は、そのコード進行に従ったハーモニー音が付けられます。

音色ごとに、最適な音域が鍵盤にセットされています。

1 音色モードを選びます。



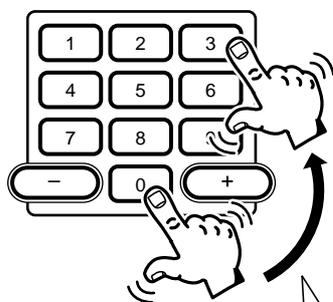
音色(VOICE)のアイコンが点灯



電源 オン 音色ナンバー : 01

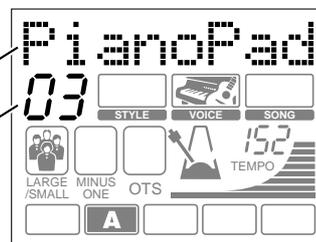
2 ナンバーボタンで音色ナンバーを選びます。

「1」~「0」ボタンで選ぶには



「10の位」「1の位」の順番で、ナンバーボタンを続けて2つ押します。

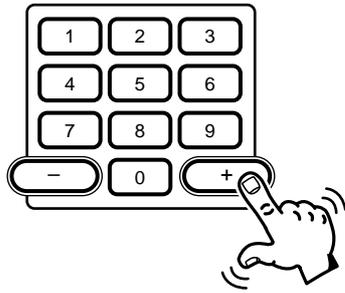
ナンバーの選び方 6ページ



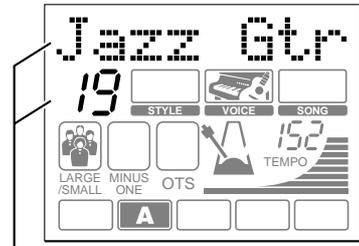
音色ネーム / 番号が変わる

設定範囲 音色ナンバー : 01 ~ 00

「+」「-」ボタンで選ぶには(ナンバーをひとつずつ変える)



ナンバーの選び方 6ページ

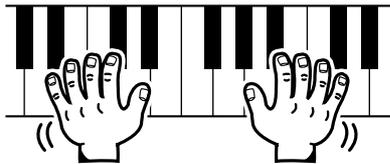


音色ネーム / 番号が変わる

設定範囲 音色ナンバー : 01 ~ 00

3 演奏してみましょう。

いろいろな音色を選んで、演奏してみましょう。



メモ

PSR-190/78の最大同時発音数は12です。スプリットボイスや二つの音が重なった音色(たとえば04:ピアノとピブラフォン)などで演奏すると、2つ以上の音色が同時に発音されるため、最大同時発音数が少なくなります。また、同時発音数には自動伴奏やソングなどの発音も含まれるため、和音などの鍵盤演奏と自動伴奏やソング演奏などを同時におこなうと、最大同時発音数を越えると、ある音が途中で消えたり鳴らなくなったりすることがあります。



ドラム / パーカッションリスト

音色ナンバー「94/00 : パーカッション」を選ぶと、下記のドラム / パーカッションの音色が各鍵盤にセットされます。

C1	D1	E1	F1	G1	A1	B1	C2	D2	E2	F2	G2	A2	B2	C3	D3	E3	F3	G3	A3	B3	C4	D4	E4	F4	G4	A4	B4	C5	D5	E5	F5	G5	A5	B5	C6																
																	スネアドラム1	ハイハットペダル	クラッシュシンバル	シンセハイハット	シンセハイハットオーガン																														
																	リムショット	ハイハットクロース	シンセリムショット	シンセハイハットオーガン																															
																	バスドラム1	バスドラム2	スネアドラム2	スネアドラム3	タムベース	タムロー	タムニッド	タムハイ	シンセバスドラム	シンセスネアドラム	シンセタムベース	シンセタムロー	シンセタムニッド	シンセタムハイ																					
																	PSR-78																																		
																	PSR-190																																		

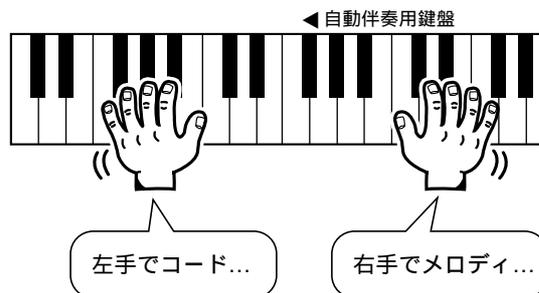


自動伴奏を使った演奏

PSR-190/78は、100種類の伴奏スタイルで自動伴奏できます。

自動伴奏機能を使えば、選択された伴奏スタイルと自動伴奏用鍵盤で演奏されたコードに応じて、伴奏(ベース音とコード音)が自動的に演奏されます。

好みの伴奏スタイルを選び、自動伴奏機能を使って演奏してみましょう。



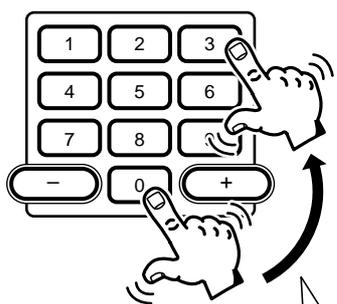
1 伴奏スタイルモードを選びます。



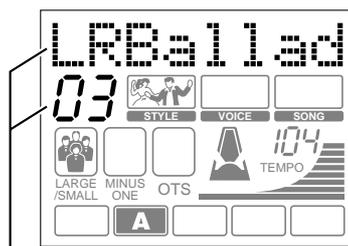
電源 オン 伴奏スタイルナンバー : 01

2 ナンバーボタンで伴奏スタイルナンバーを選びます。

「1」~「0」ボタンで選ぶには

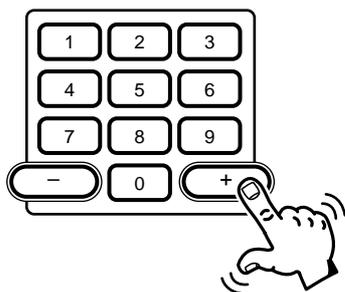


ナンバーの選び方
6ページ

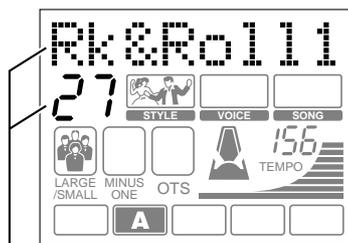


設定範囲 伴奏スタイルナンバー : 01 ~ 00

「+」~「-」ボタンで選ぶには (ナンバーをひとつずつ変える)



ナンバーの選び方 6ページ



設定範囲 伴奏スタイルナンバー : 01 ~ 00

③ 自動伴奏をスタートします。

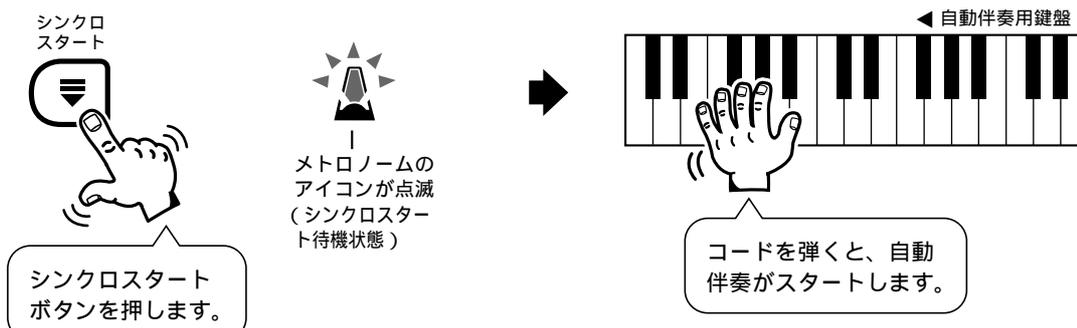
自動伴奏のスタート方法には、以下の3種類があります。

いずれかの方法で自動伴奏をスタートし、自動伴奏用鍵盤でコードを押さえると、伴奏が自動的に演奏されます。PSR-190/78の自動伴奏はマルチフィンガリングというコード検出方法(12ページ)で演奏されます。

メモ 伴奏スタイルモードで伴奏をスタートせずに、自動伴奏用鍵盤でコードを押さえると、すべての伴奏スタイルに共通のベース音とコード音が鳴ります。(ストップアカンパニメント)

音色モードで自動伴奏をスタートすると、選ばれている伴奏スタイルのリズムだけが演奏されます。

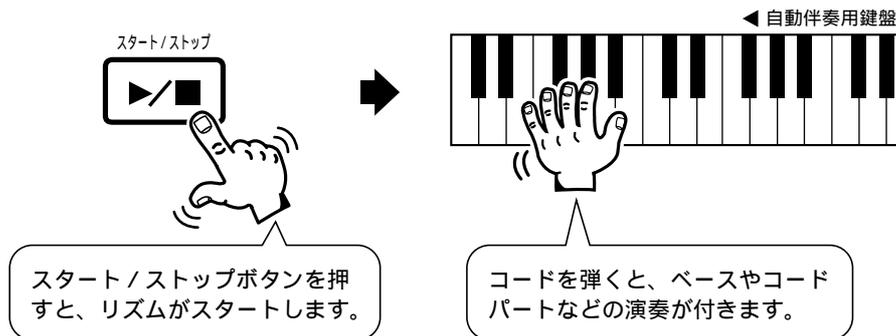
シンクロスタート



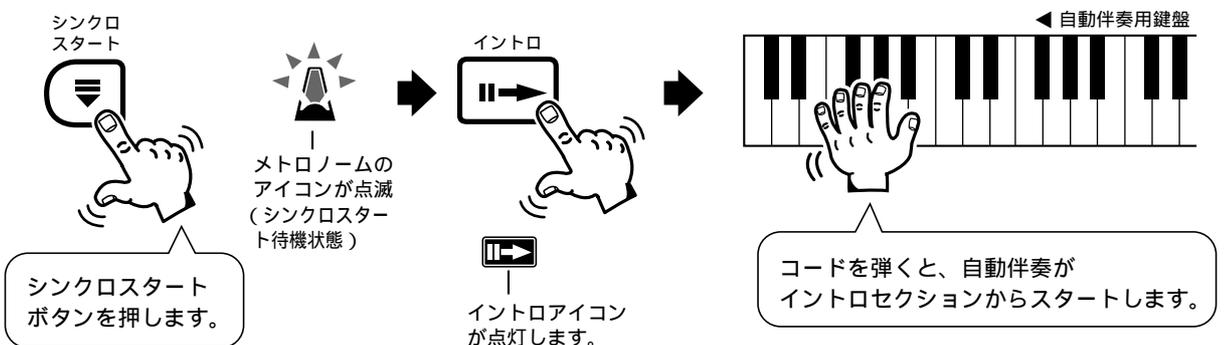
伴奏スタイルモードを選ぶと、自動的にシンクロスタート待機状態になります。

メモ シンクロスタート待機中にシンクロスタートボタンを押すと、シンクロスタート待機状態は解除されます。もう一度シンクロスタートボタンを押すと、シンクロスタート待機状態になります。

スタート

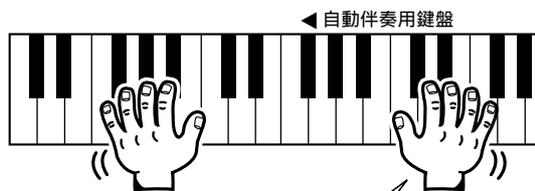


イントロシンクロスタート



伴奏スタイルモードを選ぶと、自動的にシンクロスタート待機状態になります。

④ 自動伴奏に合わせてメロディを演奏します。



左手でコードを変えながら...
伴奏に合わせて右手でメロディを演奏



自動伴奏の演奏中、ボイスモードに切り替えてボイスを変更することができます。

マルチフィンガリングについて

自動伴奏のためのコードの押さえ方は、マルチフィンガリングという方法です。マルチフィンガリングとは、コードをシングルフィンガー(コードの簡単な押さえ方)で押さえても、フィンガード(通常のコードの押さえ方)で押さえても、PSR-190/78がそのコードを自動的に識別するという便利な機能です。

鍵盤の◀より左の自動伴奏用鍵盤でコードを弾いてください。

シングルフィンガー/フィンガードに固定するには

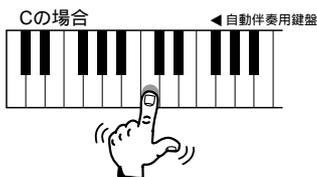
PSR-190/78は、電源を入れると自動的にマルチフィンガリングになりますが、シングルフィンガー、フィンガードいずれかに固定することもできます。

シングルフィンガーに固定するには
ナンバーボタン[-]を押しながら電源を入れます。
SINGLE とディスプレイに表示されます。

フィンガードに固定するには
ナンバーボタン[+]を押しながら電源を入れます。
FINGERED とディスプレイに表示されます。

電源を切り、もう一度電源を入れるとマルチフィンガリングに戻ります。

シングルフィンガー



自動伴奏用鍵盤で、3本以内の指を使って、メジャー、マイナー、セブンス、マイナーセブンスのコードを演奏することができます。

シングルフィンガーのコードの押さえ方

(Cの押鍵例)



・メジャー(M)コード
ルートキー(根音)を押さえてください。



・マイナー(m)コード
ルートキーと、ルートキーより左側の黒鍵を同時に押さえてください。



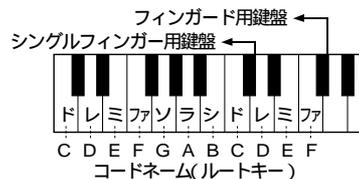
・セブンス(7)コード
ルートキーと、ルートキーより左側の白鍵を同時に押さえてください。



・マイナーセブンス(m7)コード
ルートキーと、ルートキーより左側の黒鍵と白鍵を同時に押さえてください。

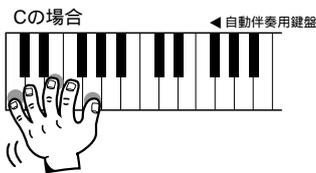


ルートキー(根音)と押さえる鍵盤



シングルフィンガーモードに固定した場合、自動伴奏用鍵盤はC1~C#2に変更されます。

フィンガード



自動伴奏用鍵盤でコードを押さえると、そのコードと選ばれた伴奏スタイルに従って伴奏が演奏されます。

フィンガードのコードの押さえ方

(Cの押鍵例)



C₇SUS4



C_m



Caug (7aug)



C₇



Cdim (dim7)



C_m7



C₇♭5



C_M7



C_mM₇



C_m7♭5



C_m6



C_{sus}4



C₁₊₂₊₅



メモ

カッコ()内の鍵盤は押さえてもかまいません。

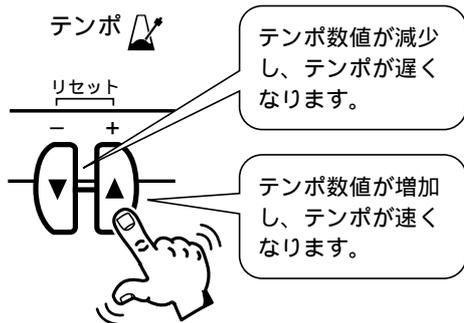
コードはすべて基本形で書かれていますが、その転回形も可能です。ただし、以下の場合を例外とします。

- ・ aug、dim(7)は押鍵の最低音を根音とみなします。
- ・ 7♭5は押鍵の最低音を根音または7とみなします。
- ・ m6と1+2+5は基本形だけを受け付けます。
- ・ 7augはaug、dim7はdimとみなします。

コードキャンセル：フィンガードに固定した場合、黒鍵を含めて隣り合う3音を押さえると、コード演奏がキャンセルされ、リズムのみの演奏になります。



テンポの調整



テンポ数値が減少し、テンポが遅くなります。

テンポ数値が増加し、テンポが速くなります。

[+] ボタンを押し続けると、テンポ数値が連続で増減します。

[+] - [-] ボタンを同時に押すと、スタイル(デモソング)の最適なテンポに戻ります。(リセット)

設定範囲

テンポ：♩ = 40 ~ 240 (1分間の4分音符の数)

電源 オン

テンポ：伴奏スタイルナンバー01の標準テンポ

メモ

リズムがストップしている時に伴奏スタイルを選ぶと、その伴奏スタイルに最適なテンポが自動的に選ばれます。リズム演奏中に伴奏スタイルを変更してもテンポは変わりません(ワンタッチセッティング オンの場合を除く)

デモソングを選ぶと、そのデモソングに最適なテンポが自動的に選ばれます。



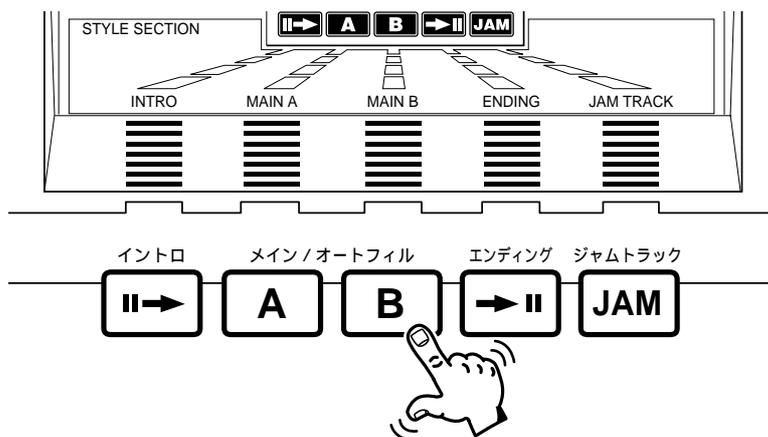
ビートディスプレイについて

リズム / 伴奏の演奏中は、設定されたテンポに従ってメトロノームのアイコンが点滅してビート(拍)を表示します。(デモソングの演奏中も同様に点滅します。)

4拍子系		3拍子系		
1拍目		奇数小節	1拍目	
2拍目			2拍目	
3拍目			3拍目	
4拍目		偶数小節	1拍目	
			2拍目	
			3拍目	

⑤ セクション(伴奏パターン)を切り替えます。

自動伴奏は、曲の構成に応じて編曲をいろいろと変化させるために、イントロ、メインA/B、4フィルイン、エンディング、ジャムトラックのセクションを持っています。セクションを演奏中に切り替えれば、自由にひとつの曲を作ることができます。



イントロセクション

イントロダクション(曲の始まりの部分)です。イントロセクションの演奏が終了すると、メインセクションに移行します。



メインセクション

曲のメイン部分の演奏で、A/B2つのバリエーションがあります。演奏したコードに基づいた伴奏が、自動的に演奏されます。

フィルインセクション

フィルインは曲の流れに区切りをつけて演奏を盛り上げます。演奏中にメインA/Bボタンを押すと、演奏状況に応じて4つのフィルインの中から最適なフィルインが自動的に演奏され(オートフィル)、伴奏にアクセントを付けることができます。



エンディングセクション

エンディング(曲の終りの部分)です。エンディングセクションの演奏が終わると、自動伴奏はストップします。



小節内の最終拍以降に、メインA/Bボタンを押すと、次の小節からフィルインが始まります。メインA/Bボタンを押し続けると、フィルインが繰り返し演奏されます。イントロ、エンディング、ジャムトラックボタンを押すと、それぞれ次の小節から演奏されます。メインA/Bボタン、またはジャムトラックボタンを押してから、イントロボタンを押せば、イントロセクション演奏後のセクションを指定することができます。(イントロ...アイコン点灯、イントロ後のセクション...アイコン点滅)
ソングモード時またはソング演奏中は、セクションの切り替えはできません。

ジャムトラックセクション



ジャムトラックセクションには、選んだ伴奏スタイルの典型的なコード進行があらかじめプログラムされています。

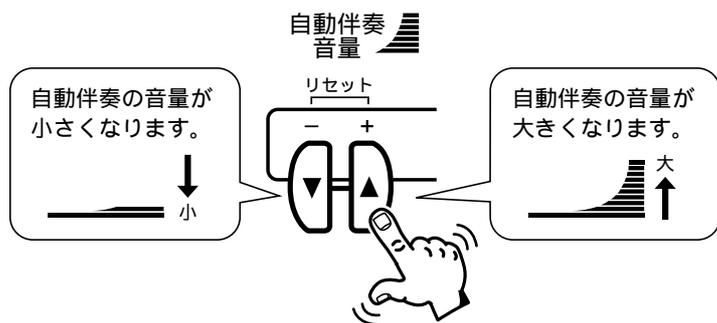
ジャムトラックセクションを選んだ後、自動伴奏用鍵盤で最初のコード(キー:調)だけ押さえれば、スタイルに合ったコード進行付きの伴奏が自動的に演奏されるため、自分でコード演奏をしなくても気軽に自動伴奏を楽しむことができます。



ジャムトラックセクションの伴奏パターンは、直前に選択されていたメインAまたはメインBセクションの伴奏パターンになります。

自動伴奏音量の調整

自動伴奏全体のボリュームを変更して、鍵盤演奏とのバランスをとることができます。

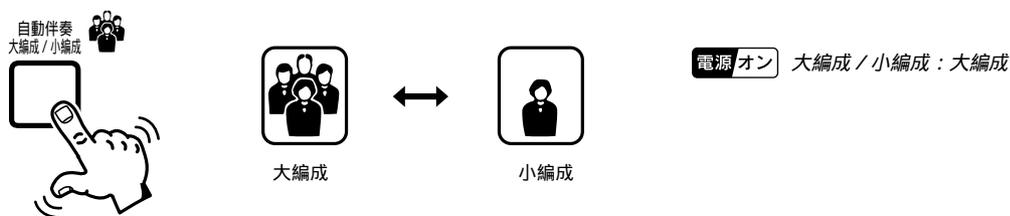


[+] - ボタンを押し続けると、自動伴奏音量が連続で増減します。
[+] - ボタンを同時に押すと、最適な自動伴奏音量に戻ります。(リセット)

メモ ソングモード時またはソング演奏中は、自動伴奏音量の調整はできません。

自動伴奏の大編成 / 小編成の切り替え

自動伴奏大編成 / 小編成ボタンを押すと、自動伴奏の大編成 / 小編成を切り替えることができます。

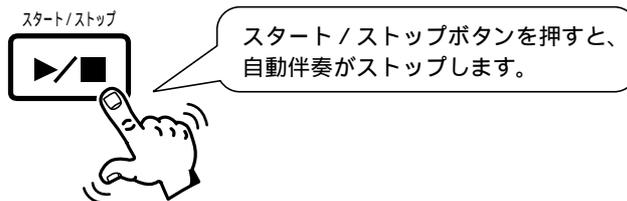


⑥ 自動伴奏をストップします。

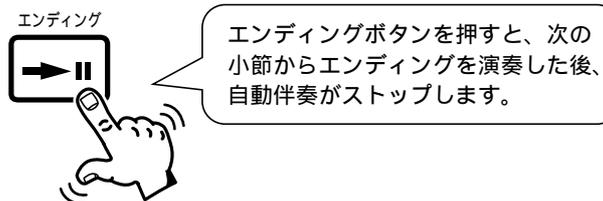
自動伴奏のストップ方法には、以下の2種類があります。

メモ シンクロスタートボタンを押すと、自動伴奏がストップし、シンクロスタート待機状態になります。

ストップ



エンディング





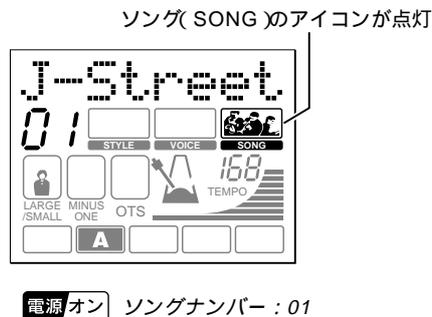
マイナスイワンを使って練習

PSR-190/78にはバラエティに富んだ20種類のデモソングがはっています。マイナスイワンとは、デモソングのメロディ部分を消す機能です。カラオケのように、メロディ部分を練習(鍵盤演奏)しましょう。

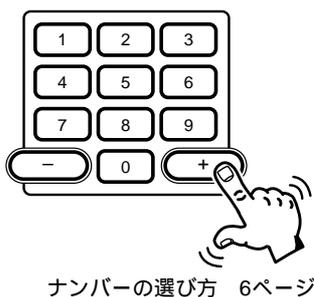
好みのデモソングを選んで聴き、マイナスイワンを使って練習してみましょう。

演奏する時は、18~27ページの楽譜を参考にしてください。

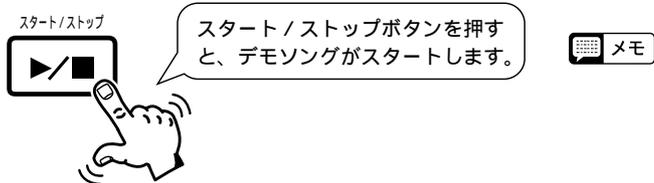
1 ソングモードを選びます。



2 ナンバーボタンでソングナンバーを選びます。



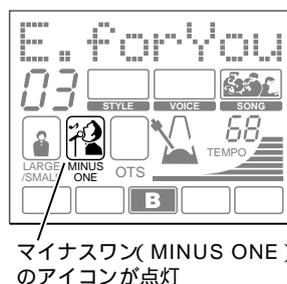
3 デモソングをスタートします。



ソングの再生中に、音色モードで音色を変更すると、鍵盤の音色とともに、ソングのメロディの音色が変わります。

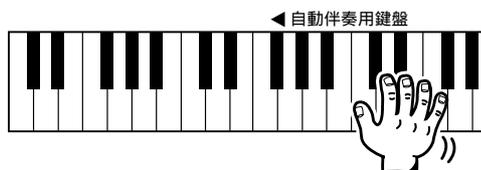
デモボタンを押してデモソングをスタートすると、またはソング再生中にデモボタンを押すと、ソングナンバー01からのチェインプレイになります。

4 マイナスイワンをオンにします。



メモ
マイナスイワンボタンを押してアイコンを消灯させる(オフ)と、メロディ部分が演奏されます。

⑤ メロディパートを練習します。



楽譜を見ながらミュートされているメロディパートを演奏しましょう。

⑥ デモソングをストップします。

スタート/ストップ



スタート/ストップボタンを押すと、デモソングがストップします。

メモ

デモソングをスタート/ストップボタンでスタートすると、選んだ曲の演奏が終了すると演奏は自動的にストップします。マイナスワンがオンの場合は、スタート/ストップボタンを押すまで選んだ曲を繰り返し再生します。



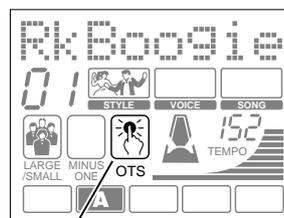
ワンタッチセッティングの活用

PSR-190/78には、100種類の伴奏スタイルと20種類のデモソングそれぞれに、最も適した音色などがあらかじめ設定されています。

伴奏スタイルモード、または、ソングモードで、ワンタッチセッティングボタンを押せば、ワンタッチで伴奏スタイル/デモソングに最適な音色などを呼び出すことができ、たいへん便利です。



ワンタッチセッティングボタンを押して、ワンタッチセッティングをオンにします。



ワンタッチセッティング(OTS)のアイコンが点灯
(伴奏スタイルモード/ソングモード)

ワンタッチセッティングの設定内容

伴奏スタイルモードの時

- ・ 選ばれている伴奏スタイルに最適な音色/テンポ/自動伴奏音量/自動伴奏大編成・小編成

ソングモードの時

- ・ 選ばれているデモソングのメロディに使われている音色

電源 オン

OTS : オフ(アイコン消灯)

メモ

ワンタッチセッティングがオンの時、デモソングの中には、曲の途中で音色が自動的に変わるものがあります

故障かな？と思ったら

現象	原因	解決方法
電源入/切ボタンを押した時に、ポツンという音がする。	本体に電流が流れるためです。	故障ではありません。
音が歪んだり、突然出なくなったりする。 電源を入れた時の状態に戻る。	電池が消耗しています。	電池を交換してください。
音が出ない。	PHONES/AUX OUT端子に、ヘッドフォンなどのプラグが接続されています。	ヘッドフォン(プラグ)を抜いてください。
同時に押さえた鍵盤の音が全部鳴らない。	同時に鍵盤を押さえ過ぎです。	PSR-190/78の最大同時発音数は12です。自動伴奏やデモソングの演奏なども含めて最大12音の範囲で鳴らすことができます。(9ページ)
押さえる鍵盤によって音質や音量が異なる。	音色の中には、よりリアルな楽器表現を可能にするために、いくつかの鍵域に分けて楽器音をサンプリングするマルチサンプリングという方法で作られたものがあります。それらの音色は、音域によって音質や音量が若干異なる場合があります。	故障ではありません。

PSR-190/78仕様

	PSR-190	PSR-78
キーボード	レギュラーサイズ61鍵 (C1~C6)	レギュラーサイズ49鍵 (C1~C5)
音色	AWM100音色(最大同時発音数12)	
伴奏スタイル	100スタイル	
オートアカンパニメント		
フィンガリング	マルチフィンガリング	
ソング(マイナスイオン機能付)	20	
コントロール	電源入/切ボタン、総合音量コントロール、デモボタン、テンポ+] [-]ボタン、自動伴奏音量+] [-]ボタン、シンクロスタートボタン、スタート/ストップボタン、イントロボタン、メイン/オートフィルA/Bボタン、エンディングボタン、ジャムトラックボタン、マイナスイオン(自動伴奏大編成/小編成)ボタン、ワンタッチセッティングボタン、音色/伴奏スタイル/ソングボタン、ナンバーボタン[1]~[0][+] [-]	
リアパネル端子	電源アダプター(DC IN 10-12V)端子、フォン/外部出力(PHONES/AUX OUT)端子	
アンプ実用 (電源アダプターPA-3B使用時)	3.0W + 3.0W(EIAJ)	5.5W(EIAJ)
最大出力 (乾電池使用時)	4.5W + 4.5W(EIAJ)	3.8W(EIAJ)
ヘッドフォン/AUX OUT 出力インピーダンス	77 ± 5%	50 ± 5%
スピーカー	10cm x 2(ステレオ)	10cm x 2(モノラル)
使用電池	単1乾電池(1.5V) x 6	
電池持続時間 (マンガン電池使用時)	約14時間 (連続デモソング演奏時、ボリューム約70%)	約45時間 (連続デモソング演奏時、ボリューム約70%)
使用電源アダプター	PA-3B	
消費電力(電源アダプターPA-3B使用時)	12W	7W
寸法(幅 x 奥 x 高mm)	930 x 358 x 116	948 x 313 x 107
重量(kg)	4.4	3.8
付属品	電源アダプターPA-3B、譜面立て、取扱説明書、保証書、和文シート(PSR-190)	
オプション(別売)商品	ヘッドフォンHPE-3/150、キーボードスタンドL-2L、L-2C、ソフトケースSCC-32	

仕様および外観は、改良のため、予告なく変更する場合があります。

YAMAHA
YAMAHA CORPORATION

ヤマハ株式会社

M.D.G., EMI Division © 1996 Yamaha Corporation

VU48960 603POT??-01A0

Printed in China